広報きたもと
きっと、もっと、きたもとが好きになる 旬な話題をお届け!
2月
2016 No.936
特集面

市民が１～２日まち中で楽しめるイベントを開催したい！

産婦人科や小児科の充実が重要なのでは！

WORK SHOP

高齢者や障がい者のサービスに力を入れたほうが。

子供・家族が遊べる環境がもっと欲しい！

道路とか街路灯などの施設を整備して、キレイなまちづくりをすればいいんじゃない？

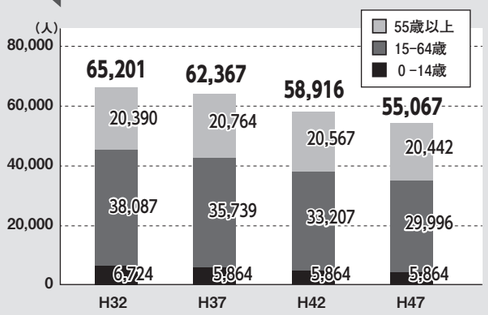
市民の考えは?! 直接話を聴きました!

特集 市民ワークショップ

北本市の人口減少に対応したまちづくりを考える

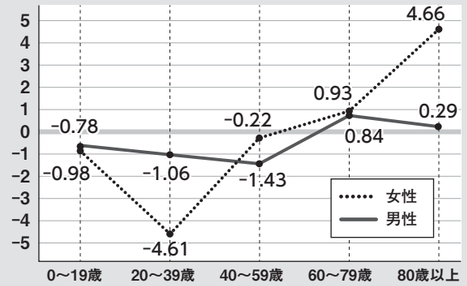
市の人口減少に関するデータいろいろ

市の20年後までの人口予測



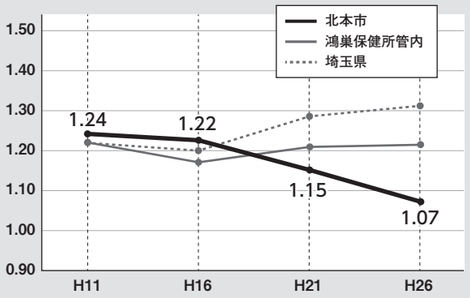
国立社会保障・人口問題研究所が平成25年3月に作成した平成22年国勢調査人口を基準とする推計

市の人口移動の増減率｛(転入−転出)÷常住者数｝



北本市では全体的に、低い年齢で流出、高い年齢で流入という傾向があり、特に若年女性の流出が顕著です。
(平成17年・平成22年国勢調査データより)

合計特殊出生率の推移



全国、埼玉県では近年上昇の傾向となっていますが、北本市では低下傾向が続いています。

平成27年11月28日
市民ワークショップ開催
[北本市文化センター第1・2会議室]

ワークショップとは、市民および市長等が、施策について、対等な立場で研究、または議論し、共同作業を行う中で課題、問題等の抽出・選択を行い、一定の合意形成を図る場のこと。 (北本市市民参画推進条例より)

特集

市民ワークショップ

北本市の人口減少に対応したまちづくりを考える

市民の考えは?! 直接話を聴きました!

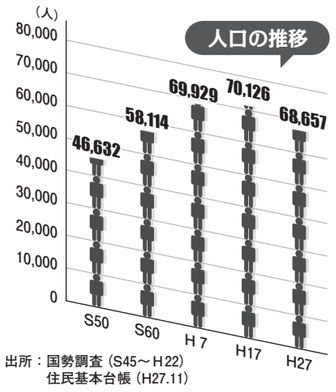
人口減少が続く

都心から近く、緑豊かな都市として発展を遂げてきた北本市。昭和15年頃から徐々に人口が増加し、昭和40年に2万人を超えてから10年間、ベッドタウンとして爆発的に人口が増加しました。その後も増加が続きましたが、平成17年をピークに人口が減少に転じています。

出生率が伸び悩み、転出者の増加が続いている中で、今後も人口は減少傾向が続くことが予想されます。

また、人口減少とともに少子高齢化、つまり高齢者人口の増加や生産年齢人口・年少人口の減少が続くことも予想されます。

人口の減少だけでなく、年齢構成の変化を見据えながら、行政サービスや財政運営を行っていかなければなりません。



出所:国勢調査(S45〜H22)
住民基本台帳(H27.11)

本当に必要なものは?

こうした市の現状をふまえ、本当に市民の皆さんにとって必要な行政サービスは何か。より費用対効果の高い施策が求められる今、行政だけで考える時代は終わりました。

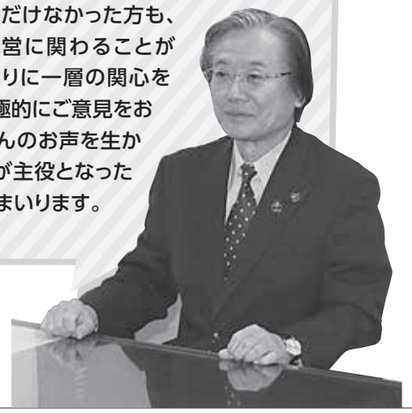
そこで今回、「北本市の人口減少に対応したまちづくりを考える」をテーマに市民の皆さんが考えていることをワークショップ形式で直接お聴きしました。

市長からメッセージ

この度スタートした市民ワークショップでは、多くの市民の皆さんにご参加いただき、「北本市の人口減少に対応したまちづくり」について責重なご意見やご提案をいただきました。

また、市民の皆さんがそれぞれに北本を思い、今後のまちづくり等について真剣に考えていることを強く感じることができ、熱意と刺激にあふれた大変有意義なワークショップとなりました。

今回、ご参加いただけなかった方も、様々な形で市政運営に関わることが可能です。まちづくりに一層の関心を持っていただき、積極的にご意見をお寄せください。皆さんのお声を生かし、市民一人ひとりが主役となったまちづくりを進めてまいります。



市民ワークショップスタート！

参加者55人

集まった皆さんは全て初対面。そういった場で市民の声を直接聴けることはとても有意義であり、また、市民同士も、自分と同意見、違う意見を持っている人との交流は刺激になったのではないでしょうか。

参加者選考方法

市政への皆さんからのご意見をいただくため、市民2,000人に無作為にハガキを送付し、参加可能の返答をいただいた55人（男性26人・女性29人）に参加いただきました。年齢も様々、男女の比率も偏りなく集まった中での意見交換となりました。

当日は、このような流れで進めました

1. A～Fの6つのグループに分かれる（1グループ10人前後）
2. 各グループで話し合い
3. 1人1個提案を出す
4. そのうち2個を選出 ←P4で紹介
5. 各グループ発表
6. 12個の提案が出揃う
7. 参加者全員で12個の提案に投票！ ←P5で紹介

6グループの提案と支持数

どのグループからも、テーマに沿った様々な意見が積極的に出ていました。自分の住む北本市のこと、皆さんいろいろな思いを持っているのですね。さて、この中から特に優先順位の高い提案を、各グループから2つ選出しました（赤い太字の2案）。

	提案内容	支持（賛成－反対）	賛成	反対
A グループ	**1．産婦人科、小児科の充実**	**3**	**3**	**0**
	2．圏央道周辺の開発	**3**	**4**	**1**
	3．空き家を格安で活用、情報の発信	3	4	1
	4．出産支援、子育て、児童手当の充実	2	3	1
	5．企業誘致、企業との連携	1	2	1
	6．保育行政の根本的な検討による効率的な支援の実現	1	1	0
	7．高齢者の参加による子育て支援	0	0	0
	8．老人ホームの職員の給料を上げて、若い人が結婚できる市職員とする	－1	1	2
	9．新駅の推進	－2	1	3
B グループ	**1．高崎線の代替となる交通機関の確保**	**3**	**3**	**0**
	2．公園、子供、家族が遊べる環境の整備	**3**	**3**	**0**
	3．産婦人科、小児科の充実	2	2	0
	4．北里大学メディカルセンターを起点としたまちづくり	2	2	0
	5．空き家を格安で活用、情報の発信	2	2	0
	6．企業誘致、企業との連携	1	1	0
	7．魅力あるまちづくり、住環境の充実	1	1	0
	8．新駅の推進	－4	1	5
C グループ	**1．高齢者の参加による子育て支援**	**5**	**5**	**0**
	2．出産支援、子育て、児童手当の充実	**4**	**6**	**2**
	3．出産から保育園までのサポート充実と、その間の母親の就業等	3	3	0
	4．観光農園、農業体験、里山資源の活用による６次産業の推進	2	2	0
	5．企業誘致、企業との連携	1	2	1
	6．子育てにお金がかからない仕組みづくり、保育料無料化	1	1	0
	7．児童館の有効利用、化学実験館の建設	1	1	0
	8．住む場所が格安であれば自然と、人口、商店、医療など発展する	1	1	0
	9．新駅の推進	0	1	1
	10．北里と連携して緊急医療を充実、大学の誘致	0	0	0
D グループ	**1．道路、街路灯、施設整備によるきれいなまちづくり**	**4**	**4**	**0**
	2．子ども、若者、高齢者がまちを使いつくしたイベントの開催	**4**	**4**	**0**
	3．企業誘致、企業との連携	2	2	0
	4．高齢者向けアミューズメントパークの設置	2	2	0
	5．職員給与の引下げ、職員数、議員数の抑制	2	2	0
	6．出産支援、子育て、児童手当の充実	2	2	0
	7．教育の質の向上	1	1	0
	8．地域交流のためのサークルの充実	1	1	0
	9．東西バスの充実	0	1	1
	10．空き家を格安で活用、情報の発信	－1	0	1
E グループ	**1．高齢者、障がい者サービスの充実**	**4**	**4**	**0**
	2．市営駐車場の活用、駅前のにぎわい、活性化	**2**	**3**	**1**
	3．買い物の利便性の向上	2	2	0
	4．小学生までの子育てと仕事の両立支援	1	1	0
	5．新駅の推進	0	2	2
	6．将来推計に違いがある吉川市を参考	0	1	1
	7．市政へ市民の声を反映する仕組みの充実	－1	1	2
F グループ	**1．若年夫婦のための安価な団地の造成、産院、幼稚園等の設置**	**9**	**9**	**0**
	2．産婦人科、小児科の充実	**5**	**5**	**0**
	3．北里を近隣からも人が来る評判のよい病院とする	1	1	0
	4．公民館、保育所の縮小	－1	1	2
	5．新駅の推進	－4	2	6

最終12案について、あなたのご意見をお聞かせください!

今回のワークショップで提案された⑤ページの最終12案に対し、今後の検討に向けて、皆さんのご意見を募集します。「このように具体化してほしい」「こうすればお金をかけずできるのでは」「実施にはこのような課題があるのでは」など、12案へのご意見をお待ちしています。

下のハガキをご使用ください。

対　象 どなたでも

提出方法 2月15日(月)までに下のハガキより提出してください。ホームページでも受け付けています。

http://www.city.kitamoto.saitama.jp/shisei/koho/ikenn/1452143053500.html

●ハガキの使い方

キリトリ

郵便はがき

料金受取人払郵便

北本局承認

701

差出有効期間
平成29年9月13日まで

切手は不要です

3 6 4-8 7 9 0

埼玉県北本市役所
秘書広報課 広報広聴担当

①若年女性対象WS申込み
②12案に対するご意見

山折り

①「若年女性対象WS」用 記入欄（全項目必須）

氏　名			歳
同伴者	無・有(　歳)	お子様のお預かり	不要・要(　人)
住　所	〒　－		
TEL	－　－		
Eメール	@		

キリトリ

②「12案に対するご意見」用 記入欄

氏　名		男・女	歳
TEL	－　－		
コメントしたい提案(P⑤の12案より)	A1 F2 D1 B2 C2 E1 F1 C1 A2 E2 D2 B1		
コメント			

今回のワークショップの結果を受けて 若年女性を対象としたワークショップ開催!

2月20日(土)13:00～16:30
市役所3階 会議室EF

参加者本人には謝礼として図書カード1000円分を差し上げます

これまでの意見交換会や、ワークショップ、統計情報から、今後の人口減少に対応したまちづくりには、若年女性に対する取組みの充実が強く求められています。そこで、当事者の皆さんから直接ご意見をいただくために、若年女性を対象としたワークショップを開催します。

対　象 18～39歳の市内在住の女性50人(年齢は2月20日現在)。本人だけでなく同伴1人(中学生以上の男性は除く)まで参加可

申込み方法 下のハガキからお申し込みください。ホームページでも受け付けています。

http://www.city.kitamoto.saitama.jp/shisei/koho/ikenn/index.html

※2月10日時点で希望者が50人を超えた場合は、年齢、属性を考慮して抽選とします。
※小学3年生までのお子様をお預かりするスペースをご用意しています。スペースに限りがありますので、ご希望の人は事前にご連絡ください。

最終12案にみんなで投票!

グループに分かれて出した提案から、各2案の計12案を選出し、「賛成・反対・要検討」、その理由を記入できる用紙で参加者全員が投票を行いました。参加者の皆さんは当日、投票をしてご帰宅されたので、この結果は知りません。投票結果は下記の通りです。

このような結果となりました!

順位	グループ内順位	提案内容	賛成－反対	賛成	反対	要検討
1	A1	産婦人科・小児科の充実	**48**	49	1	2
2	F2	産婦人科・小児科の充実	**44**	44	0	4
3	D1	道路、街路灯、施設整備によるきれいなまちづくり	**34**	35	1	7
4	B2	公園、子供・家族が遊べる環境の整備	**33**	33	0	10
5	C2	出産支援、子育て、児童手当の充実	**33**	35	2	10
6	E1	高齢者、障がい者のサービスの充実	**32**	32	0	8
7	F1	若年夫婦のための安価な団地の造成、産院、幼稚園などの設置	**31**	32	1	13
8	C1	高齢者の参加による子育て支援	**27**	31	4	8
9	A2	圏央道周辺の開発	**25**	25	0	20
10	E2	駅前のにぎわい、買い物の利便性の向上	**23**	28	5	12
11	D2	老若男女、市民が1日・2日まち中でイベント開催	**16**	18	2	19
12	B1	高崎線の代替となる交通機関の確保(広域での実施)	**13**	16	3	21

参加者の声

(参加後のアンケートより抜粋)

気楽に参加しましたが、次回は近隣の人や友人に聞いて意見を多く持って参加したいです。
お金のない市に要望しても横ばいか低下(減少)で、目先だけでなくお金になることも考えないと…と思います。初めてですが、他項目での継続を希望します。

本日は突っ込んだ話(煮詰めた話)まではできませんでした。ただ、初めてお会いする人とも(男女関係なく)お話ができたことが有意義でした。市民の方々が本音で提案して良い雰囲気でした。長時間でしたが楽しかったです。

まずは今住んでいる市民の皆さんの声を聞いて、不満→満足にしていくことが最重要だと思います。

グループの意見集約は難しい。次回があるのであればもう少し議題を絞ってほしいです。

「人口減少に対応したまちづくり」という難題に対して、今後の北本市の未来を考える人たちが多く集まっている状況を見て、今後の北本市は良い方向に進むと感じました。
その一方で、若い世代が少なく、高齢者の方が多かった印象です。もっと若い人たちが未来に責任を持ち、意志を持ち、期待できるような「まち」になれるように、微力ながら力を注いでいきたいです。